



# 5年生部会

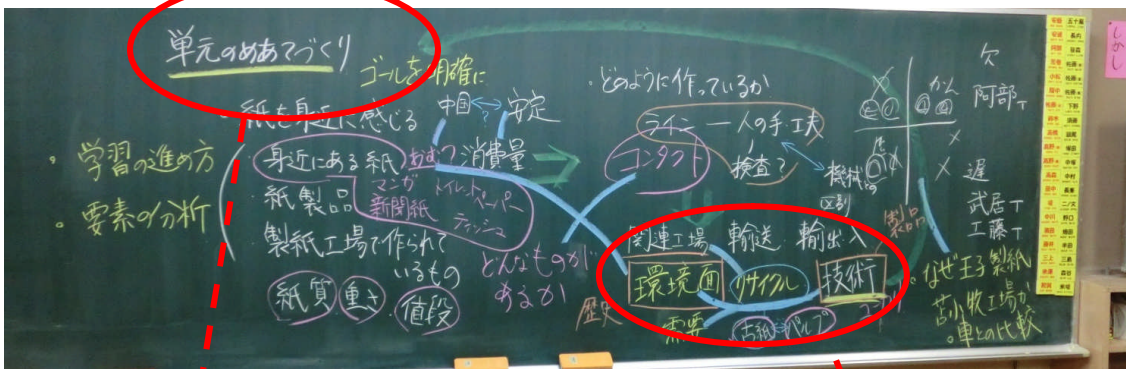
平成28年5月27日  
No.2 (文責:土岐)

【5月11日(水)に3回目の部会、25日(水)に4回目の部会を米里小学校で行いました】

5年生部会では今回… **紙** に着目して教材化をしていきます。

北海道で紙を作っている大工場といえば、**王子製紙苫小牧工場** です。

文化のバロメーターといわれる紙を国内で自給したい。そんな願いをもとに、1910(明治43)年から1世紀にわたって操業を続けています。1日におよそ1300万世帯分の新聞用紙を製造し、専用の輸送船で首都圏に送られている。**世界最大の新聞用紙生産工場**です。



### ① 単元のめあて作り

単元を貫く学習問題は何か。紙は子どもたちにとってとても身近である。新聞紙、マンガ、雑誌、ティッシュ、トイレットペーパー、紙おむつ、段ボール…。一日に1回は必ず「紙」に触れています。家庭の様子を調べることで、紙は生活に必要なものだ気付かせていく。どのような単元の導入が良いか…さらに検討が必要である。

### ② 本当に「紙」が工業製品といえるのか→自動車工業の教材と比較する。

指導要領の工業単元のポイント「国民生活の維持と向上に役立っている」と言えるのか。関連工場は？輸出入は見えるか？これからの「紙」の未来は…？教科書にもある自動車単元との比較を徹底的に行っていく必要がある。

→単元構成を作っていく上で重要。

### ③ 津田校長先生より教材化の取り組み方について教えていただきました。

教材化について要素の分析をはっきりさせることが大切。

事象の全体像や本質を的確に捉え、事象の本質をおさえた教材開発をする。さらに、学年や単元の目標との関連を図り、焦点化する。

☆次回の部会は6月1日(水)米里小学にて18:30~行います。

## 百聞は一見にしかず

→ぜひ、王子製紙苫小牧工場に見学に行きましょう！

